

演出家・俳優養成セミナー2013

演劇大学 in こおりやま

Engekidaigaku in KÔRIYAMA
2013年7/18(木) → 21(日)

文化庁委託事業「平成25年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」
企画制作：日本演出者協会
主催：文化庁／日本演出者協会 企画運営：演劇大学 in こおりやま実行委員会 共催：郡山市／郡山市教育委員会
郡山市民文化センター（公益財団法人郡山市民文化・学び振興公社）／ふくしま表現塾「風のうた」
後援：福島県高等学校演劇連盟

2013年の「演劇大学 in こおりやま」が今夏も郡山市民文化センターで開催されます。あの2011年から始まった「演劇大学 in こおりやま」、震災の爪痕の生々しい状況での開催は演劇という表現活動がいに「生きる力」を支えるものかを、参加者一人一人の胸に刻みつけました。震災の年に誕生した郡山の「演劇大学」は、震災後の時間と共に歩いています。あれから「ふくしま」は復興への道のりの遠さだけが実感される日々ですが、「当たり前」ではない場所で、「当たり前」の顔をして生きることの功罪・・・それを背負って生きているフクシマ。表現者（自称、他称）として、今、自分の語るべきこと、伝えるべきことに向き合う姿勢を正すためにも、この「演劇大学 in こおりやま」の開催を実のあるものにしたいと心から願っています。

実行委員長 青木淑子



セミナー会場 郡山市民文化センター

〒963-8878 福島県郡山市堤下町1番2号
TEL.024-934-2288 FAX.024-934-2326

※駐車場がございません。公共交通機関をご利用ください。

講師 **講座順

桂歌若



青森県弘前市出身。昭和62年、桂歌丸へ入門し、平成13年に真打昇進。高座出演をこなす一方、「教育こそ人類の最も偉大な資産」を信条に、落語を題材としたワークショップ活動へ精力的に取り組む。また、江戸庶民文化の研究者として著述や講演も行っている。その他、声優としてアニメ作品や吹き替え作品に多数出演。主な出演作に「時をかける少女」（角川映画）。著書には「一話3分落語ネタ入門」（朝日新書）などがある。

藤田傳



1932（昭和7）年生まれ。51年、日大芸術学部入学。即刻中退。本格的に演劇活動を開始。藤原歌劇団、新協劇団等を経て、63年から劇団俳優小劇場へ。「剣ヶ崎」で芸術祭奨励賞、「黒念仏殺人事件」で芸術祭優秀賞を受賞。1980年、劇団1980を創立。95年1月、劇団1980公演「行路死に人考」の脚本・演出で、第29回紀伊國屋演劇賞を受賞。「とりあえずの死」は92年度毎日新聞ベスト5に選ばれるなど、独自の日本人論を展開しながら、意欲的な創作活動が続く。

公家義徳



福島県本宮市出身。東京演劇アンサンブルの俳優・演出家。ブレイト、チェーホフ、久保菜、木下順二などの作品に数多く主演。代表作『桜の森の満開の下』は海外5カ国7都市での公演を行ない、高く評価されている。2006年にはベルリンで行われたブレイト・フェスティバルで、アジアから唯一の招聘を受けて『ガリレイの生涯』を上演。主役のガリレイ・ガリレイを演じた。近年は演出やワークショップなども精力的に手がけている。

広田淳一



1978年生。2001年、東京大学在学中に「ひょっとこ乱舞」を旗揚げし、現「アマダドリ」主宰。同劇団の全作品において脚本・演出を担当し、しばしば出演する。さりげない日常会話ときらびやかな詩的言語を縦横に駆使し、身体性を絡めた表現を展開。随所にクラッピンや群舞など音楽・ダンス的な要素も節操なく取り入れ、リズムとスピード、熱量と脱力が交錯する「秩序立てられたカオス」としての舞台を志向している。

野崎美子



福島県出身。舞台芸術学院、劇団青年座研究所卒業。劇団東演で活動中、文化庁在外研修員として、ロンドンのRADAで俳優教育を、モスクワのユーゴザバト劇場で演出を学んだ後、同劇場客員俳優として、2006年までモスクワに在住。2001年、モスクワ芸術座付属演劇学校マスタークラス卒業。帰国後、フリーの演出家、アクティングトレーナーとして活動。2011年の「ふくしま総文祭」では、開会式の演出を担当。

斎藤晴彦



1940年7月30日生まれ。東京都出身。黒テントの中心俳優であり、同時代演劇を代表する俳優でもある。近年は『レ・ミゼラブル』『ウーマン・イン・ブラック』『放浪記』など大劇場でも活躍。映画・テレビ・ドラマの出演も多い。すぐれた歌手でもある。主な出演作「放浪記」「レ・ミゼラブル」「ウーマン・イン・ブラック」。黒テント公演『びらんでっろ』『メザスヒカリノサキニアルモノ若しくはパラダイス』『かもめ』の演出も行なう。

村井健



演劇評論家。日本文芸家協会会員、社団法人「日露演劇会議」専務理事、紀伊国屋演劇賞審査委員、テアトロ新人戯曲賞選考委員、JOKO演劇学校講師、首都大学東京非常勤講師、新国立劇場付属演劇研修所講師、新国立劇場演劇専門委員、05年度文化庁文化交流使（派遣ロシア）、NHKシアター・コレクション「オフィシャル・アドバイザー」を歴任。著書『シチュエーション』（五柳書院）、『日本演劇史』（新国立劇場情報センター）、共著『ロンググットバイ バタラフマラとその時代』（青幻舎）、『海を越えた演出家たち 演出家の仕事III』（れんが書房）など。

和田喜夫



1951年山口県下関生まれ。早稲田大学在学中より演出を始める。文学座養成所を経て、1982年から11年間、劇作家・岸田理生との共同作業を続ける。92年オーストラリアのアデレード、パース国際演劇祭で『糸地獄』を上演し絶賛を得る。01年よりオーストラリアやカナダの先住民の劇作家との共同作業を始める。また「在日」の演劇人との共同作業も多い。代表作に『糸地獄』、『居留地姉妹』、『ウィンドミル・ベイビー』など。演劇企画集団 楽天団代表。日本演出者協会理事長。

きたむらけんじ



ソーシャル・アート・ユニット『劇団東京フェスティバル』主宰／放送作家／劇作家／演出家。福島県小浜にある歓楽街を舞台に震災から1年間の人間模様を描いた人情喜劇『泡』は2013年9月福島県で再演される。知的障害者の雇用問題を扱った『幸福な職場』は、東京都や高知県の高校生たちが演じるなど劇団公演に留まらない展開を見せている同劇団。放送作家としては、「JAM THE WORLD」（J-WAVE）、「J-WAVE TOKYO MORNING RADIO」などを手がけている。

日本演出者協会
JAPAN DIRECTORS ASSOCIATION

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎3F
TEL: 03-5909-3074 / FAX: 03-5909-3075
E-mail: j_d_a_info@yahoo.co.jp HP → http://jda.jp/